

A I 画像解析等による次世代穀粒判別器の開発

1. 研究目的

穀粒判別器等によって定量的に得られた米の品質等の解析データを活用することで、生産・流通・消費の各段階のニーズを相互に共有する米のバリューチェーンを構築する。

2. 研究背景

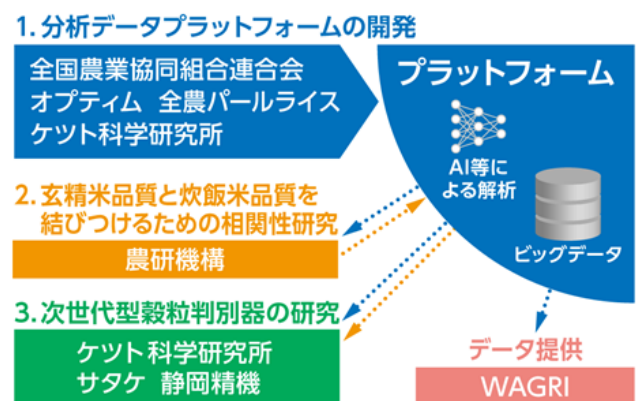
現行の農産物規格・検査では、検査員の減少や定性的で具体的な測定データを示せない等の課題がある。また、消費者・実需者のニーズが多様化する中、実需者・消費者毎に異なるニーズへの対応や生産現場への正確な情報伝達を行うことが課題となっている。本研究では、これらの課題解決に資する次世代穀粒判別器等の技術開発を行う。



次世代穀粒判別器の開発

3. 研究内容

- ① 穀粒判別器等の分析データを管理するプラットフォームの開発
- ② 玄精米品質と炊飯米品質を結び付けるための相関性研究
- ③ 次世代穀粒判別器の開発研究



研究体制相関図

4. 達成目標・期待される効果

達成目標

- ・次世代穀粒判別器の開発などにより米の特徴を活かした実需者・消費者ニーズに応じた取引の推進に資する技術を開発



期待される効果

- ・実需者・消費者に対して新たな指標を示した米取引の実現
- ・生産者へのデータフィードバックによる営農指導等への活用
- ・商流の各段階でニーズの共有可能なバリューチェーンの構築

研究代表機関：全国農業協同組合連合会

共同研究機関：(株)オプティム、全農パルライス(株)、(株)ケット科学研究所、農研機構 等